

指導者用デジタル教科書(教材)を活用した授業展開例 ①

教材 アップロード作戦

(中学生の道徳 自分を見つめる 1 52～57 ページ)

収録されているコンテンツ



長野県飯田市の街並みや「りんご並木」について紹介します。

使用場面例：導入で

飯田市が大火に見舞われたこと、主人公が中学生であることが分かるので、教材本文にスムーズに入ることができます。

右の二次元コードから、映像をご覧いただけます。(YouTube にアクセスします。)



動画「りんご並木」

主人公が生徒たちと
同年代で共感しやすそう。

でも「りんご並木」って
想像しにくいなあ……。
どんなところ？



りんごが「木になっている」の
を見たことのない子がいそう。

昔の話だけでなく、今のことも
もっと知りたいなあ……。



現在の飯田市立東中学校での収穫行事の様子をまとめています。中学生だけでなく、小学生や地域の人々と一緒に収穫をしていることが分かります。

使用場面例：展開で

教材本文には書かれていない、現在の飯田市立東中学校の生徒たちの取り組みを紹介し、新たな視点から考えを深めることができます。

右の二次元コードから、映像をご覧いただけます。(YouTube にアクセスします。)



動画「現在のりんご並木」

主題名 郷土の発展に努める

ねらい 多くの困難に立ち向かいながらりんご並木をつくり、受け継いでいく飯田東中学校の生徒たちの思いについて考えるを通して、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員として進んで郷土の発展に努める道徳的実践意欲を培う。

内容項目 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〔中学校C・(16)〕

	生徒の学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導の留意点
導入	●動画を見る	○今日は長野県飯田市にある「りんご並木」の話です。	デジタル 動画「りんご並木」を見せて、前提となる情報を共有する。
	教材を読む ■生徒たちのりんご並木をつくらうという決意について考える。	○東中学校の生徒たちは、どうして「りんご並木」をつくりたいと思ったのだろう。 ・もう大火に負けない町にしたいから。 ・町のために、自分たちのできることをしてみたいと思ったから。 ・町の人々を元気付けるようなことをしたかったから。	教材を範読する。 町が大火によって傷付いていたことを再度確認しておく。
展開	■町の人々の心の変化について考える。	○東中学校の生徒たちの仕事ぶりを見て、町の人々はどのように思っていたのだろう。 ・本当に続くのだろうか。 ・この町のことを真剣に考えてくれているんだ。 ・きれいなりんご並木になるといいな。	町の人たちに生徒たちの熱意が伝わり、町が一体となりつつある様子を簡単に押さえる。
	■生徒たちの「理想」に込められた思いについて考える。	◎東中学校の生徒たちが掲げた「理想」とは、どのようなものだったのだろう。 ・みんながこの町を好きになるようにしたい。 ・りんご並木というシンボルのある素晴らしい町をつくりたい。 ・りんご並木をつくることで、町の人たちの心を一つにしたい。 ・もう災害にも負けない強い町をつくりたい。	単にりんごを実らせることが「理想」ではないことを問い返していき、「よりよい郷土にする」ということを多面的・多角的に捉え、考えを深める。
終末	●動画を見る ■現在の東中学校の生徒たちの思いについて考える。	○半世紀が経った現在、りんご並木の世話を続けながら、東中学校の生徒たちはどのようなことを思っているのだろう。 ・受け継がれた伝統をみんなで守っていきたい。 ・町を愛する気持ちは、先輩たちと一緒に。 ・先輩たちの理想は、自分たちの理想でもある。	デジタル 動画「現在のりんご並木」を見せて、先輩たちの心を引き継ごうとする思いや、また郷土に対する思いなどに共感を促す。
	教師の話聞く ■文章化	○私たちの地域にも先人たちから受け継がれてきたものがありますね。 ○今日の授業を通して感じたことや考えたことをノートに書いてみよう。	地域の伝統や文化を想起させ、自分の郷土を見つめさせる。 別冊道徳ノートに記入させる。

指導者用デジタル教科書(教材)を活用した授業展開例 ②

教材 野生の猛禽を守るために

(中学生の道徳 自分を考える2 25～29ページ)

収録されているコンテンツ



動画「猛禽類保護の取組」

教材のテーマである猛禽類と鉛中毒の問題を、筆者が解説します。

使用場面例：導入で

教材を読む上で必要な情報を分かりやすく確認することができます。生徒の教材理解を助けるとともに、時間短縮にもつながります。

右の二次元コードから、映像をご覧いただけます。(YouTube にアクセスします。)



「現代的な課題」を取り上げた内容なのね。

そもそも「猛禽類」ってあまりなじみがない。

生徒に説明が必要だな。うまく伝えられる自信ないかも……。

この問題、今はもう解決しているのかなあ……？



動画「鉛中毒問題の現状」

筆者が解決を目指している鉛中毒の問題が、まだ根絶されていない現実を紹介しています。

使用場面例：終末で

現代的な諸課題を解決していくことの難しさを知ることができ、「相互理解の大切さ」についての思考を深めることができます。

右の二次元コードから、映像をご覧いただけます。(YouTube にアクセスします。)



主題名 相互理解の大切さ

ねらい 一人のハンターとの出会いから、筆者が気付いたことについて考えることを通して、相互理解を図ることの大切さに気付き、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、他者のものの見方や考えから学んでいこうとする道徳的態度を養う。

内容項目 相互理解、寛容〔中学校B・(9)〕

導入

展開

終末

生徒の学習活動

●動画を見る

教材を読む

■批判の言葉にさらされる筆者の思いを想像する。

■一面的な見方に陥っていた筆者について考える。

■一人のハンターとの出会いから筆者が気付いたことについて考える。

●動画を見る

■文章化

発問と予想される生徒の反応

○今日は北海道釧路市で猛禽類の保護や研究を行っている獣医の話です。

○鉛中毒の問題を訴えたことで、強烈な反発が押し寄せたことについて、筆者はどのようなことを思っていたのだろう。
・どうして分かってくれないんだ。
・正しいことをしているのに。

○筆者はハンターに対してどのような印象をもっていたのだろう。
・反発にさらされているうちに、ハンターはみんな自分に批判的だと思っていた。
・ハンターのことは「敵」「悪役」なんだと思うようになっていた。
・自分が訴え続けても問題が解決していかないのは、ハンターのせい。

○一人のハンターとの出会いに「目からうろこが落ちるような思い」をした筆者は、どのようなことに気付いたのだろう。
・自分の見方が狭くなっていったこと。
・ハンターも自然を愛しているということに失念していた。
・ともに専門の知識を生かして協力できればよいということ。
・問題を解決するためには、敵味方に分かれなコミュニケーションをとることが必要なこと。
→そのためにはどのようなことが大切だろう。
・相手の考えをしっかりと聞こうとすること。
・自分の意見を押し付けようとしないこと。
・大切な目標は同じであることを確認すること。

○現代社会には立場の違いを越えて、協力していかなければいけない問題がたくさんあります。

○今日の授業を通して感じたことや考えたことをノートに書いてみよう。

指導の留意点

デジタル 動画「猛禽類保護の取組」を見せて、必要な情報を整理する。

教材を範読する。批判にさらされる筆者の心情を共感的に捉える。

講演会にハンターがやって来た時の穏やかでない心情を押さえておく。一面的な見方に陥っていた筆者を捉える。

筆者の気付きについて、多様な意見を引き出す。また、「敵味方に分かれずにコミュニケーションをとる」という筆者の考え方について、一面的な見方に陥りやすい人間の弱さも押さえながら、大切にしなければいけないことを考えさせる。生徒の反応が出なければ、補助的に発問する。

デジタル 動画「鉛中毒問題の現状」を見せて、現代的な課題を解決することの難しさについて理解を深める。

別冊道徳ノートに記入させる。